

美貌”と“健康”を望み通りに手にする方法

58. 恐怖による病は“愛の言葉”で打ち払え！

恐怖を感じたら愛を実践しなさい。愛は恐怖を追い払います。

西洋医学は病気の原因を物的にとらえます。それは目に見える原因、といってよいかもしれません。

たしかに細菌が病気をひき起こす、ここが機能障害になっている、というような場合には効力を発揮しますが、症状だけあって目に見えない病気には弱いところがあります。さしずめアレルギー疾患などはその中に入るでしょう。

ある女性が奇妙なアレルギー症状を見せていました。教会の前を通ると喘息発作が起きるのです。その女性から相談を受けたマーフィー博士は、かつて結婚式を挙げるため、彼女とその家族が教会で待っていたときに婚約者が交通事故で死ぬという衝撃的な事実があったことを突き止めました。

「あなたの喘息発作は、亡くした婚約者のことが、心の傷になっているのです」あなたは愛をもって婚約者を神に委ねなさいと博士は言いました。

彼女は婚約者の死に罪の意識を持っていたのです。自分のところへ来るために、急いだために事故に遭った。自分がいなければ、自分がその日、その教会で結婚式を挙げなければ……あるいはもっと語られていない何かがあったのかも知れません。

博士は彼女が婚約者の死に何の関係もないことを説明しましたが、それだけで癒えるほど軽い心の傷ではありません。そこで博士がこういうときによく使う奥の手「愛とともに神に委ねる」ことを勧めたのです。

次の日、彼女は博士につくってもらった祈りの言葉を唱えながら、彼のために祈る目的で教会へ行きました。発作は出ませんでした。長年苦しめられた彼女の病気は、たった一日で癒されたのです。この種の病気は原因の発見が治癒につながることが多いのです。彼女の病気は明らかに恐れからきていました。罪の意識への恐れです。本当は恐れる理由はないのですが、とにかく彼女は恐れていたのです。

彼女のように、何かのこだわりや子供じみた恐怖感から、原因不明の痛氣を招いている人もきっと大勢いるはずですよ。原因のよくわからない痛氣を抱えて困っている人は、一度このような視点から原因を探ってみてはいかがでしょうか。
